

jaspm

NEWSLETTER #105

日本ポピュラー音楽学会

vol. 27 no. 3 Aug 2015

JASPM 第27回大会統報

p.1 ポピュラー音楽学会第27回大会について.....安田昌弘

Information

p.2 事務局より

JASPM 第27回大会統報 安田昌弘

ポピュラー音楽学会第27回大会について

来る12月5日(土)、6日(日)、京都精華大学にてJASPMの第27回大会(JASPM27)が開催されます。『JASPM NEWSLETTER』前号にてご挨拶をさせていただきましたが、今回は、大会に向けた進捗状況を中心にご案内しようと思います。

JASPM27は、昨年の第26回大会のタイムテーブルを踏襲し、5日(土)午後個人発表と総会、6日(日)午前ワークショップ、午後シンポジウムという流れを予定しています。初日午後の個人発表については、「ライブ体験」、「日本の音楽史」、「社会思想と音楽」という三つの枠組みで、ポピュラー音楽研究の最新成果をお伝えしたいと思っています。地方での大会ということで発表件数は少ないですが、その分一つ一つの発表に十分な時間をとることで、積極的な意見交換につなげたいと思います。

二日目午前に予定しているワークショップは、「ポピュラー音楽と電子音・電気音」、「フェス」、そして「レコーディング技術」の三つのテーマを予定しています。どれも刺激的な内容なので、フロアを巻き込ん

だ議論の展開に期待大です。また、同日午後のシンポジウムは、「音楽と場所」をテーマに、メディアの脱中心化が進むなかで、特定の「場所」に根ざした音楽活動がもつ意義を、「京都」を事例として検討してみたいと思います。

JASPM27の会場となる京都精華大学友愛館は、ポピュラーカルチャー学部の専門棟で、2014年に竣工しました。地上三階地下二階からなり、最上階の三階には400人程度を収容できる多目的ホールがあり、シンポジウムと総会はこちらで行います。音楽コースの実習室は地上一階と地下一階にあり、個人発表やワークショップはこちらで展開します。また、地下二階に本格的なレコーディングスタジオを備えています(レコーディング技術のワークショップはこちらを利用する予定です)。

京都精華大学は京都市左京区にあります。「左京区」は、京大や西部講堂、アンダースローのような劇場、恵文社やホホホ座(旧ガケ書房)などの書店や雑貨屋を抱えたサブカル臭の強いコノテーションを持っている言葉なのですが、精華大はそれ全部引き受けて「イナたく」した場所、とでも言いましょか。山麓の谷沿いに拓かれたキャンパスです。

京都市街からのアクセスは主に二通りあります。一つは、市営地下鉄烏丸線を利用して、北の終点「国際

会館」駅で下車、そこから京都バス40番（2のりば）か50番（3のりば）に乗ってきていただく方法。京都バスのバス停からは後述する叡山電鉄の踏切をわたってすぐです。5日（土）には国際会館駅から無料のスクールバスも運行しています（ただし6日（日）は運休なので注意）。

もう一つのルートは、出町柳駅から叡山電鉄鞍馬線（八瀬比叡山口に行く本線ではないので注意）に乗って9駅目の「京都精華大学前」で下車していただく方法です。この場合、下車して高架橋を渡ればすぐにキャンパスです。出町柳駅までは、鴨川を東に渡って京阪電車が便利です（その他市バス201番、203番、206番など）。詳しくは大学のホームページなどを参考にしてください。

すでにメールニュース等でもお伝えしましたが、第27回大会は京都の紅葉シーズンの終わりにあたり、宿泊施設の確保が難しくなる可能性があります。参加予定の方には、早めの宿泊施設確保をおすすめいたします。また、予算を情熱でおぎなうタイプの皆様には、市内あちこちにあるボヘミアンなゲストハウスの利用もおすすめいたします。

最後になりますが、4日（金）晩は、市街でささやかな前夜祭も予定しております。こちらの方も詳細決まり次第、ご連絡いたしますので、お楽しみに。

JASPM27大会実行委員長 安田昌弘

◆information◆

事務局より

1. 学会誌バックナンバー無料配布について

現在、JASPM 学会誌『ポピュラー音楽研究』Vol. 1～Vol. 11 のバックナンバーは、そのすべての記事が、科学技術振興機構のオンラインサービス、J-STAGE におきまして無料で公開されております。

(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaspmjms1997/-char/ja/>)

そのため、事務局に所在する Vol. 11 までの冊子体のバックナンバーを、希望者の方に無料で配布しております（ただし送料はご負担いただきます）。

在庫については学会ウェブサイトの「刊行物」のコーナーに随時記載しておりますので、配布を希望される方（非学会員の方でも結構です）は事務局にお問い合わせください。また、ネット上で内容が全文公開されていない Vol. 12 以降のバックナンバーについては、引き続き通常の販売を行い、無料配布の対象とはいたしません。ご注意ください。

2. 原稿募集

JASPM ニュースレターは、会員からの自発的な寄稿を中心に構成しています。何らかのかたちで JASPM の活動やポピュラー音楽研究にかかわるものであれば歓迎します。字数の厳密な規定はありませんが、紙面の制約から 1000 字から 3000 字程度が望ましいです。ただし、原稿料はありません。

また、自著論文・著書など、会員の皆さんのアウトプットについてもお知らせ下さい。紙面で随時告知します。こちらはポピュラー音楽研究に限定しません。いずれも編集担当の判断で適当に削ることがありますのであらかじめご承知おきください。

ニュースレターは 86 号（2010 年 11 月発行）より学会ウェブサイト掲載の PDF で年 3 回（2 月、5 月、11 月）の刊行、紙面で年 1 回（8 月）の刊行となっております。住所変更等、会員の動静に関する情報は、紙面で発行される号にのみ掲載され、インターネット上で公開されることはありません。PDF で発行されたニュースレターは JASPM ウェブサイトのニュースレターのページに掲載されています。

(URL : <http://www.jaspm.jp/newsletter.html>)

2013 年より、8 月の紙媒体での発行号については、会員の動静に関する個人情報を削除したものを、他の号と同様に PDF により掲載してお

ります。

次号（106号）は2015年11月発行予定です。原稿締切は2015年10月20日とします。また次々号（107号）は2016年2月発行予定です。原稿締切は2016年1月20日とします。

2011年より、ニューズレター編集は事務局から広報担当理事の所轄へと移行しております。投稿原稿の送り先はJASPM広報ニューズレター担当(nl@jaspm.jp)ですので、お間違えなきようご注意ください。ニューズレター編集に関する連絡も上記にお願いいたします。

3. 住所・所属の変更届と退会について

住所や所属、およびメールアドレスに変更があった場合、また退会届は、できるだけ早く学会事務局(jimu@jaspm.jp)まで郵便またはEメールでお知らせください。

ご連絡がない場合、学会誌や郵便物がお手元に届かないなどのご迷惑をおかけするおそれがございます。

例会などのお知らせはEメールにて行なっております。メールアドレスの変更についても、速やかなご連絡を事務局までお願いいたします。

JASPM NEWSLETTER 第105号

(vol. 27 no.3)

2015年 8月 10日発行

発行：日本ポピュラー音楽学会（JASPM）

会長 細川周平

理事 粟谷佳司・井手口彰典・大山昌彦・小川

博司・東谷護・長尾洋子・

伏木香織・輪島裕介

学会事務局：

〒565-8532

大阪府豊中市待兼山町1-5

大阪大学大学院文学研究科音楽学研究室

輪島裕介研究室

jimu@jaspm.jp（事務一般）

nl@jaspm.jp（ニューズレター関係）

http://www.jaspm.jp

振替：

00160-3-412057 日本ポピュラー音楽学会

編集：平石貴士